

図 29a 曝露実験前に対照群（個体識別 16-2、16-7、16-9）の運動感覚野から誘導された脳波の周波数解析。16-2、16-9 の周波数は、運動野同様に、0Hz- θ 波周波数領域に分布している。

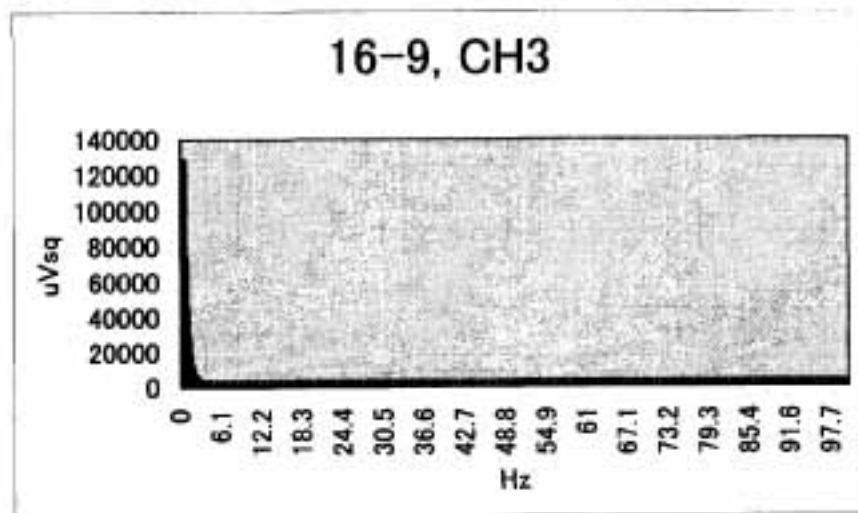
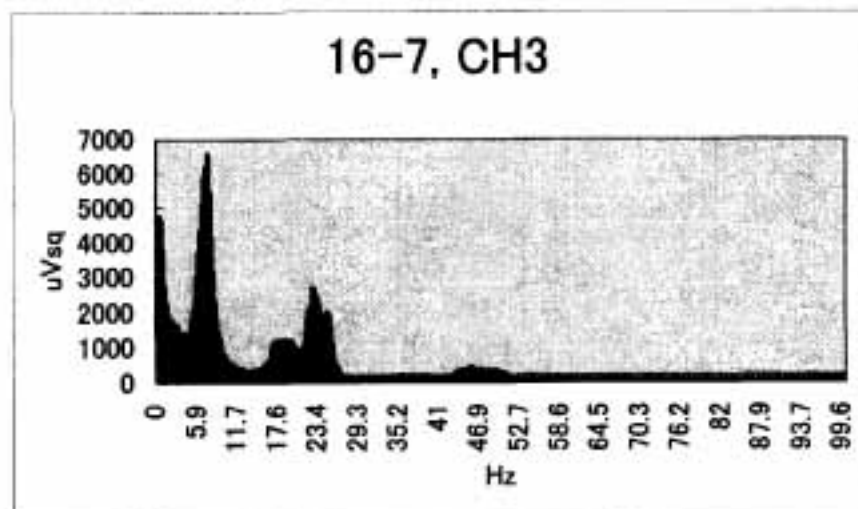
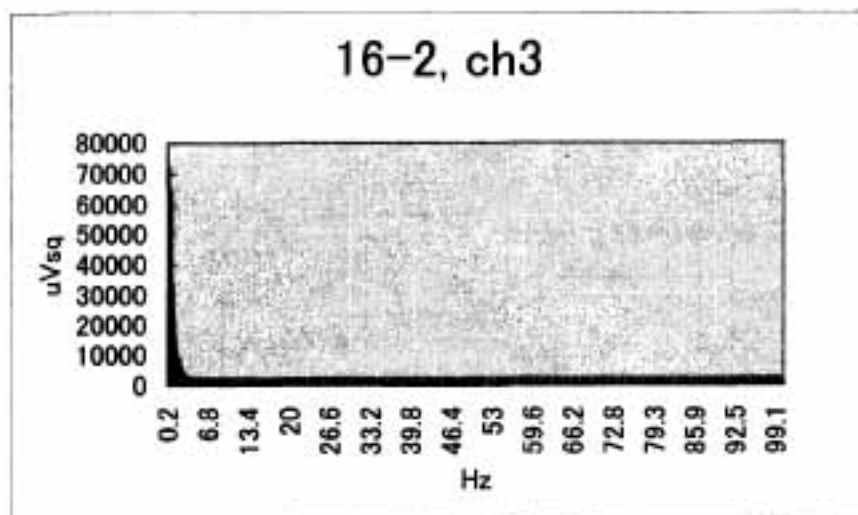


図 29b 12 週間後に測定された、16-2、16-7、16-9 マウスの運動感覚野からの脳波の周波数解析。
 16-2、16-9 は分布に変化なし。16-7 は、29a と比較して、周波数の分布が広がったが、対照群で
 あるので、個体差と考えられる。

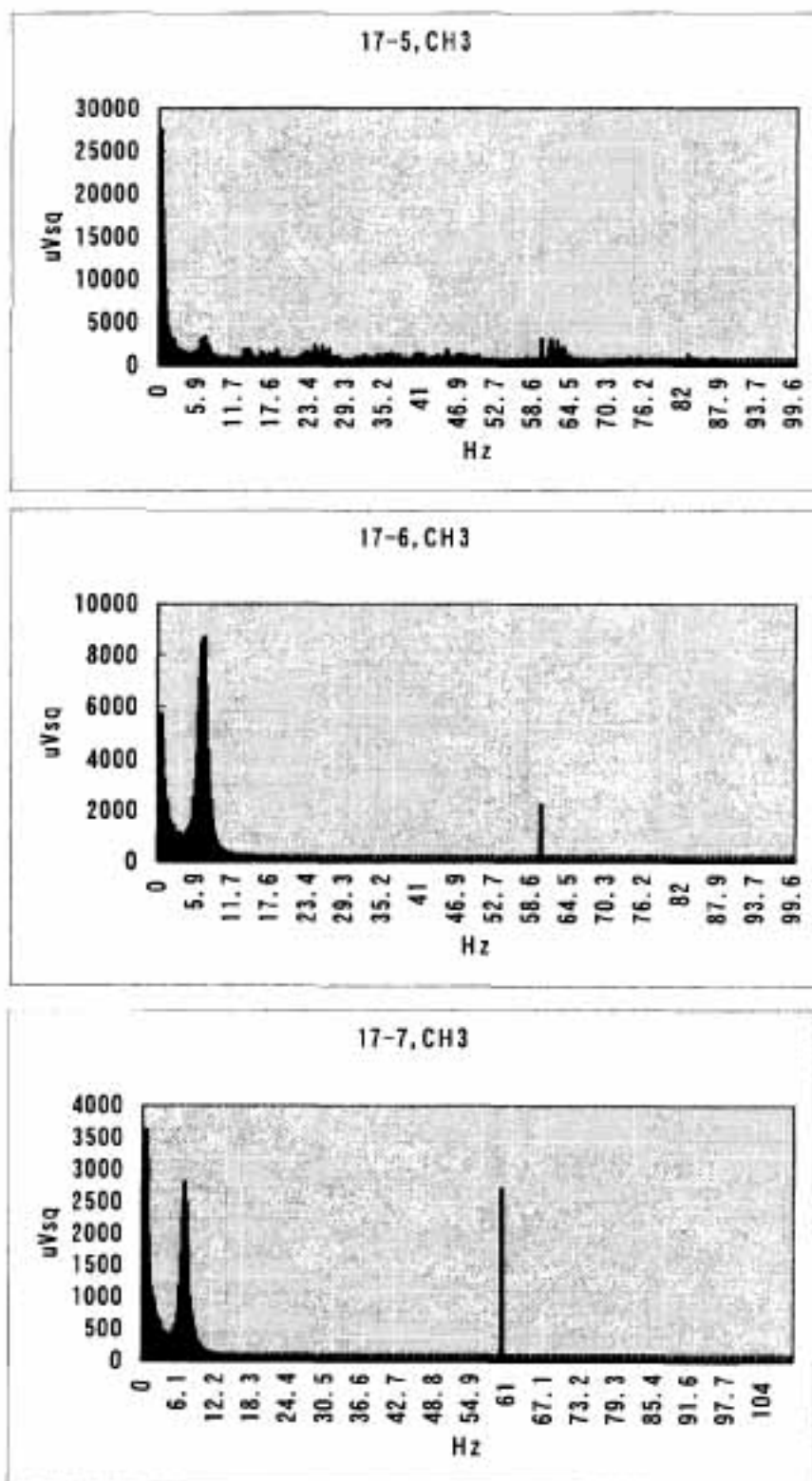


図 30a 曝露実験前に運動感覚野から測定した脳波の周波数解析。17-6、17-7 マウスは、 θ 波周波数帯域に分布のピークが見られた。しかし、17-5 にはそのようなピークは見られなかった。60Hz 付近の鋭いピークは交流のノイズである。

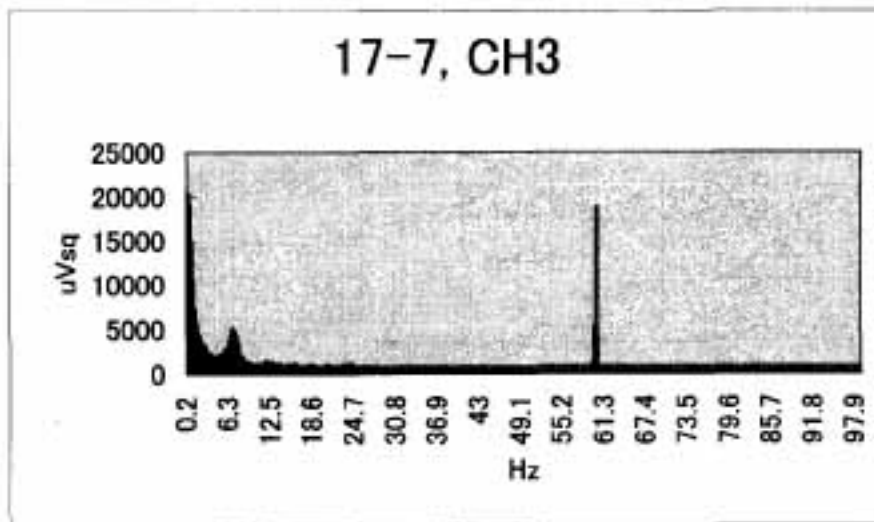
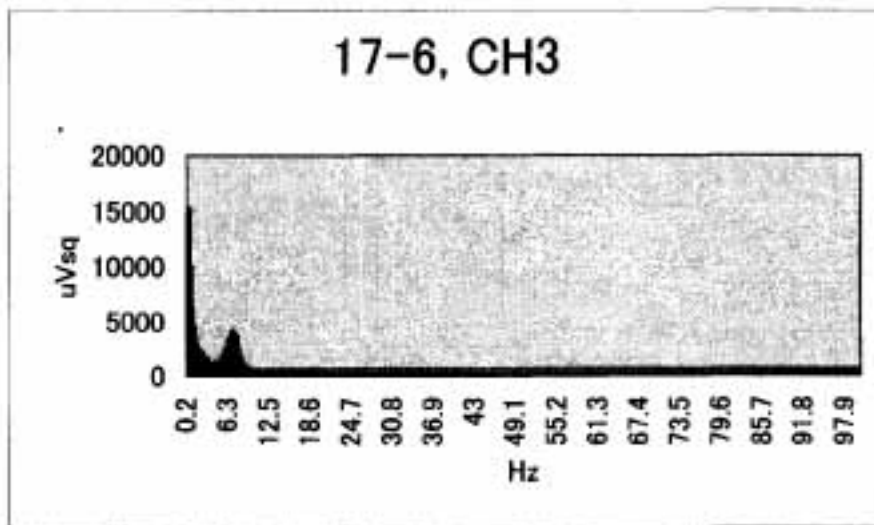
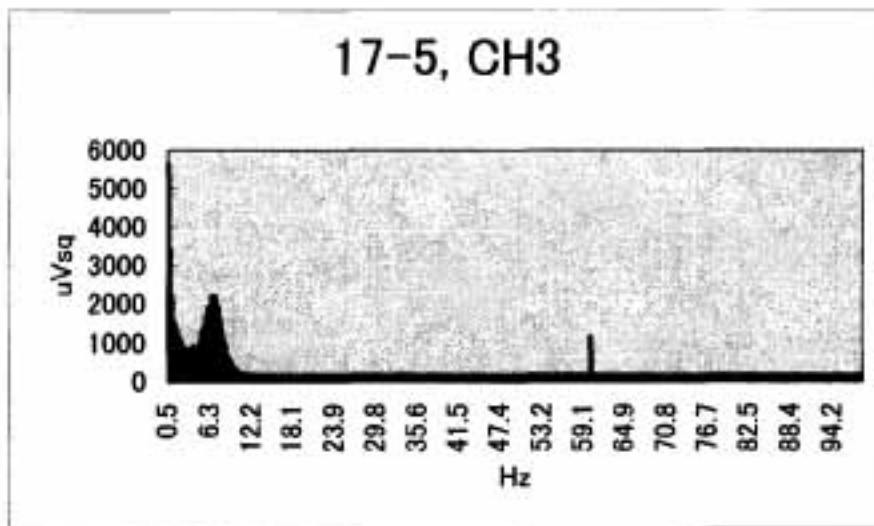


図 30b 12 週間曝露後に測定された、17-5、17-6、17-7 マウスの運動感覚野からの脳波の周波数解析。3 匹とも 8Hz 付近にピークが見られた。60Hz 付近の鋭いピークは交流のノイズである。